



## 保護者の皆様へ

### ★文理選択(1年生)・科目選択(2年生)に向けて

#### 【適性かキャリアか】

文理選択や科目選択のカギとなるのは適性と卒業後のキャリアです。適性とは自分の好きなこと・やりたいことを選ぶこと(数学が大好きだから理系、古典をもっと勉強したいから文系など)、キャリアとは将来やりたいことを選ぶこと(例えばエンジニアになりたいから数ⅢC を選択など)です。適性とキャリア選択は、車の両輪です。適性で選ぶ場合、将来のキャリアのことも考えなければなりませんし、キャリアで選ぶ場合、自分に適性があるか=きちんとやり切れるのかを考えておく必要があります。

#### 【理系という選択】

例年、親類や塾の先生に勧められてなんとなく理系を選んだ結果、専門理科や3年時の数学ⅢC で授業についていけなくなってしまう生徒がいます。気を付けなければならないのは、理系の方が文系よりも専門理科や数学ⅢC の分だけ学習しなければならない内容が多くなる、ということです。つまり、理系は文系より学習が大変になるという覚悟をもって臨まなければならないのです。「理系の方が後々融通が利く」という理由で適性などを考慮に入れずに漠然と理系を選ぶことは、望ましいことではありません。

#### 【話し合いを】

以上を踏まえて、担任としては面談を通じて生徒の考えや希望を聞いたうえで進路を選択する支援をしています。それでも、進路について考えることや学習を後回しにした結果、文理選択の判断を誤ってあとで後悔したり、進路に関わる自分の考えを言い出せずに直前になって進路変更を申し出る生徒もいます。懇談会で「本人に任せています」というお言葉を時々耳にします。親との話し合いを避けてしまう生徒は多くいます。また、当然、最終的な決断をするのは生徒本人でなくてはなりません。しかし、それまでの過程では、本人の考えや迷い・悩みに寄り添っていただき、時には一緒に情報収集をしていたり、学年に応じた一歩を踏み出す後押しをお願いいたします。



### ★受験に向けて(3年生)

#### 【見守りと、前向きな言葉がけを】

これから3年生は、自分の志望校に向けてコツコツと受験勉強に臨み、本番まで少しずつ少しずつ目標に近づいていきます。なかなか見えない成果に、ハラハラした保護者の方のほうに先に諦めて他の提案をしまうケースもあるようです。受験勉強に近道はなく、受験生は不安な気持ちやプレッシャーと闘いながら日々勉強と向き合っています。受験を通して得た学力や、「最後まで諦めない粘り強さ」は今後生涯にわたって己の芯の部分で生き続けていく資質です。学校でも模試の判定に一喜一憂することなく最後まで努力し続けるよう支援していきますので、ご家庭でも同じ方向を向いて励まし続けて頂ければ幸いです。

#### 【進学資金の準備を】

9月の共通テスト受験料支払いを皮切りに、年内入試で合格を勝ち取る生徒は早ければ10月頃から入学資金等の支払い、一般入試の生徒は何校かの受験料やそれにまつわる様々な費用、3月には半期分の授業料等、これから進学に向けて多額の進学費用が必要となります。スムーズに受験等が進むよう、必要であればお子様とも話し合いを持ちながら、準備をお願いいたします。